

国立大学法人等の施設整備の推進に関する調査研究協力者会議
2021.11.18

資料5

千葉大学アカデミック・リンク

イノベーション・コモンズの初期プロトタイプとして

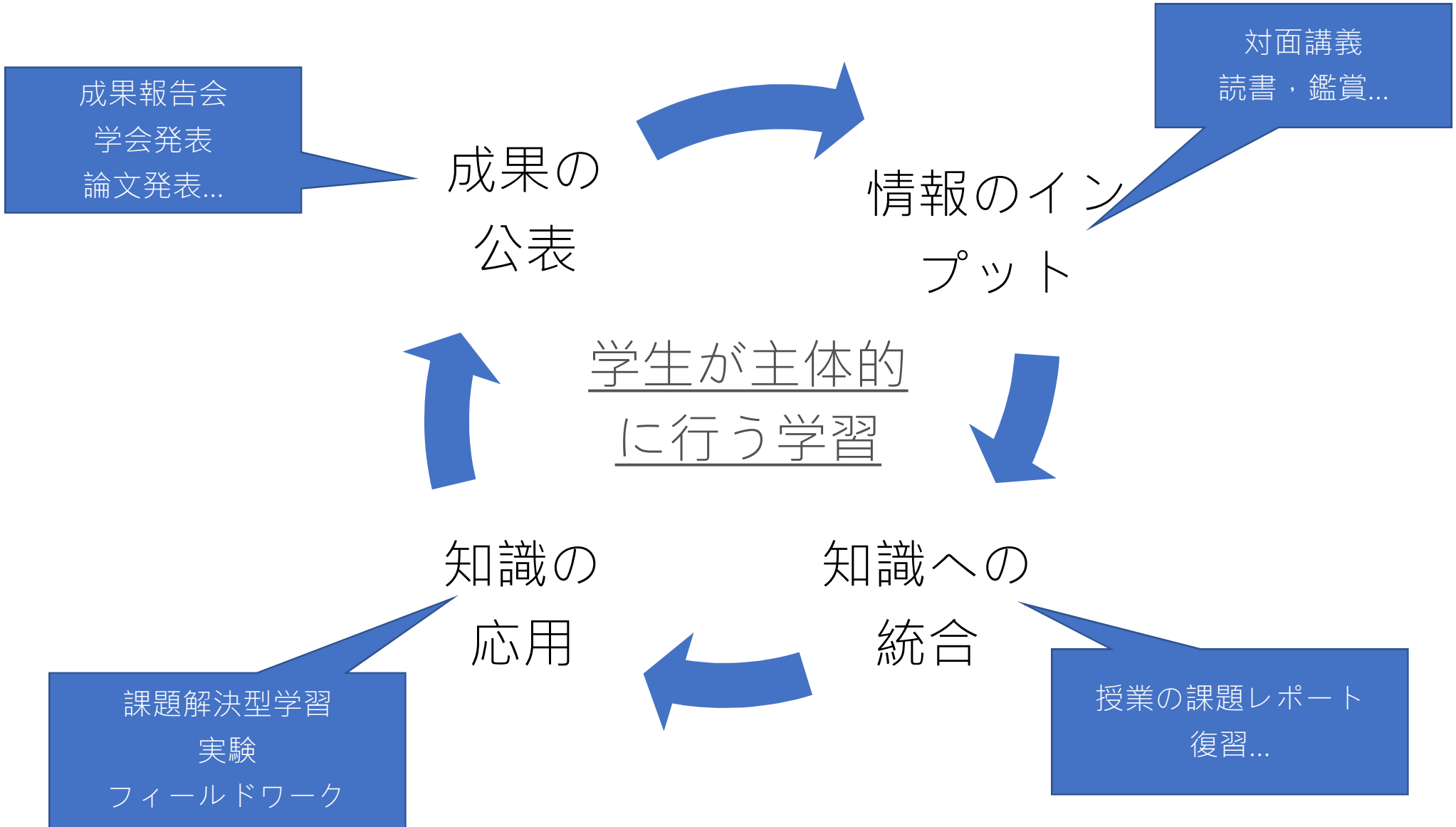
竹内 比呂也

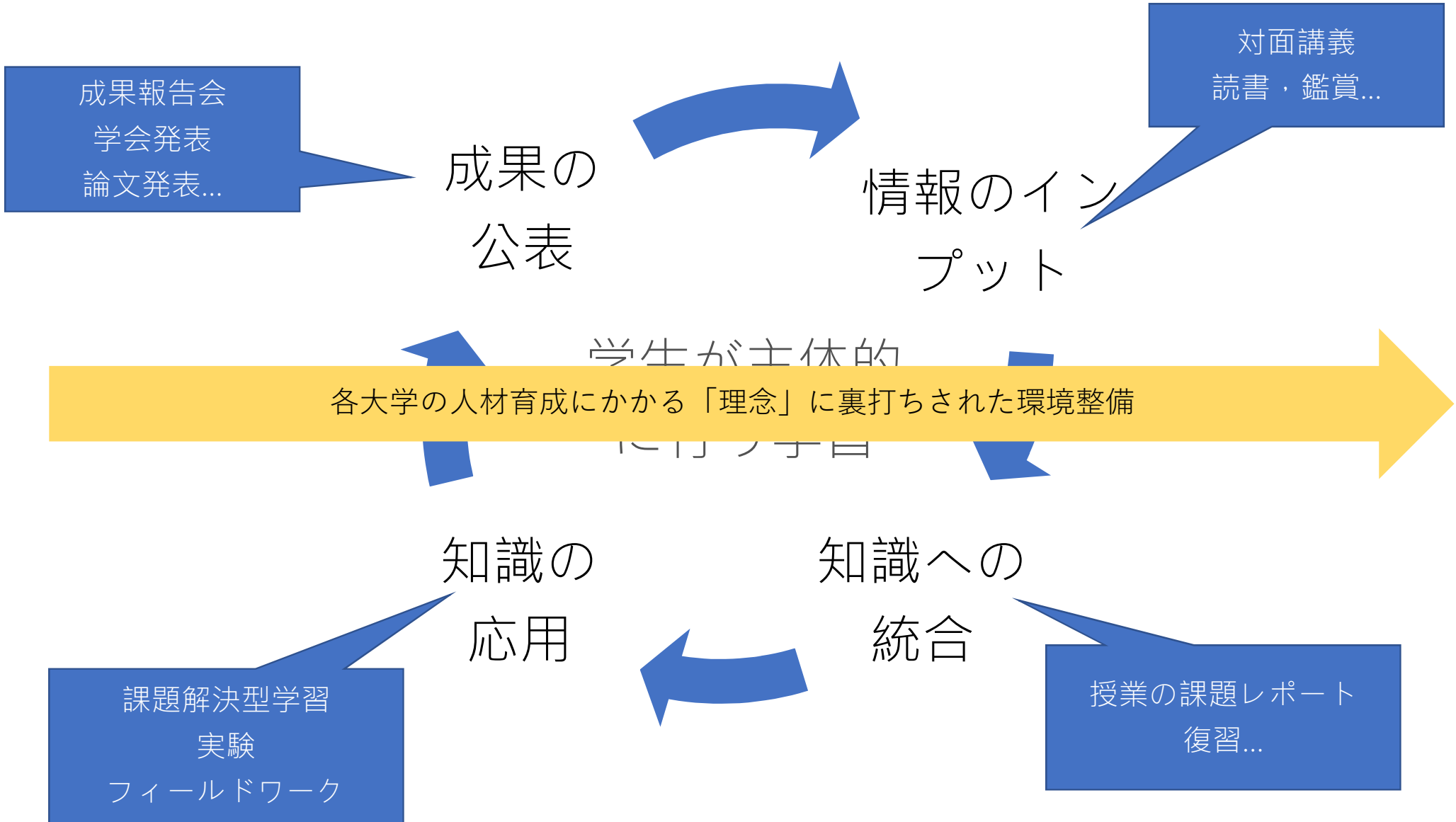
千葉大学副学長（学修支援）、附属図書館長、アカデミック・リンク・センター長、
大学院人文科学研究院教授

Always Aim Higher



CHIBA UNIVERSITY





新しい「教養」とは？

「正解のない問いに対し、意見の異なる他者との議論を通じて思考を柔軟にし、“自分がよりよりと考える答え”にたどり着くこと」

藤垣裕子・柳川範之「東大教授が考えるあたらしい教養」(2019)

アカデミック・リンクによる千葉大学の教育改革

目的:「考える学生の創造」
「生涯学び続ける基礎的な能力」「知識活用能力」を持つ学生の育成

アカデミック・リンク

「学習とコンテンツの近接」による能動的学習の実現

コンテンツ構築・提供, 情報基盤, 人的支援, 学生のニーズに適した学習空間の統合・連携による学習・教育の革新

アクティブ・ラー
ニング・スペース

コンテンツ・ラボ

ティーチング・
ハブ

千葉大学中期目標・計画<教育方法改善への取組、アクティブ・ラーニングの重視>

大学に対する社会的要請

- 知識基盤社会、学習社会における市民の育成
- 高等教育のグローバル化の中での質の維持・向上
- 職業人としての基礎能力、創造的人材の育成

「学士課程教育の構築に向けて」(平成20年12月24日、中教審答申)

学生のニーズ

- 自由に使える学習スペース
- 文章作成力、ディスカッション能力、問題解決能力
- 英語によるコミュニケーション能力

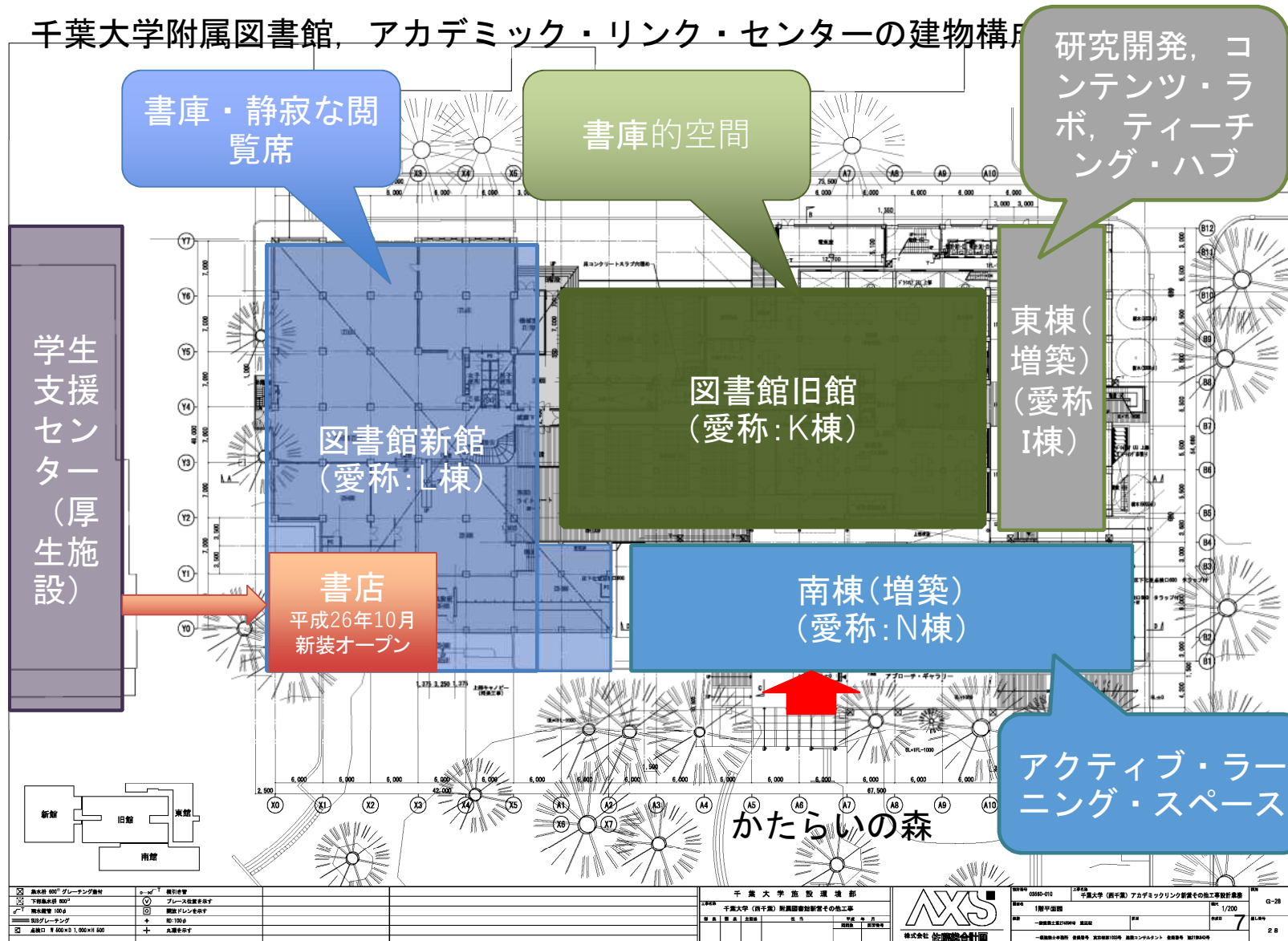
「千葉大学の教育・研究に対する意識・満足度調査報告書」(平成21年度)



アカデミック・リンク / 附属図書館

- 西千葉（およそ15,000平方メートル）
- 2010,2011年度予算により「図書館旧館」（1968年竣工）の耐震改修（2011年10月オープン）・アカデミック・リンク機能展開のための増築（現在のN棟・I棟）を実施（2012年3月オープン）
- 2012年度補正予算により「図書館新館」（1981年竣工）の機能改善・増床を実施し・現在のL棟を整備（2014年10月オープン）

千葉大学附属図書館，アカデミック・リンク・センターの建物構成



⊗	高水筒 600φ グレーティング敷料	○	通行設備
⊗	下層排水 600φ	⊙	フリース化標準表示
△	雨水排水 400φ	⊕	階段プランを示す
⊕	600φ グレーティング	+	100φ
⊕	直径口 800×3, 1,000×H 600	+	丸蓋を示す

千葉大学 施設環境部	千葉大学 (西千葉) 附属図書館新築その他工事
〒277-8582 千葉県西葛城町 1-1-1	〒277-8582 千葉県西葛城町 1-1-1
TEL 0476-859-1111	FAX 0476-859-1111
E-MAIL kaisaku@chiba-u.ac.jp	E-MAIL kaisaku@chiba-u.ac.jp

00000-010	千葉大学 (西千葉) アカデミックリンク新築その他工事設計業務	01/200	G-28
00000-010	千葉大学 (西千葉) アカデミックリンク新築その他工事設計業務	01/200	G-28
00000-010	千葉大学 (西千葉) アカデミックリンク新築その他工事設計業務	01/200	G-28

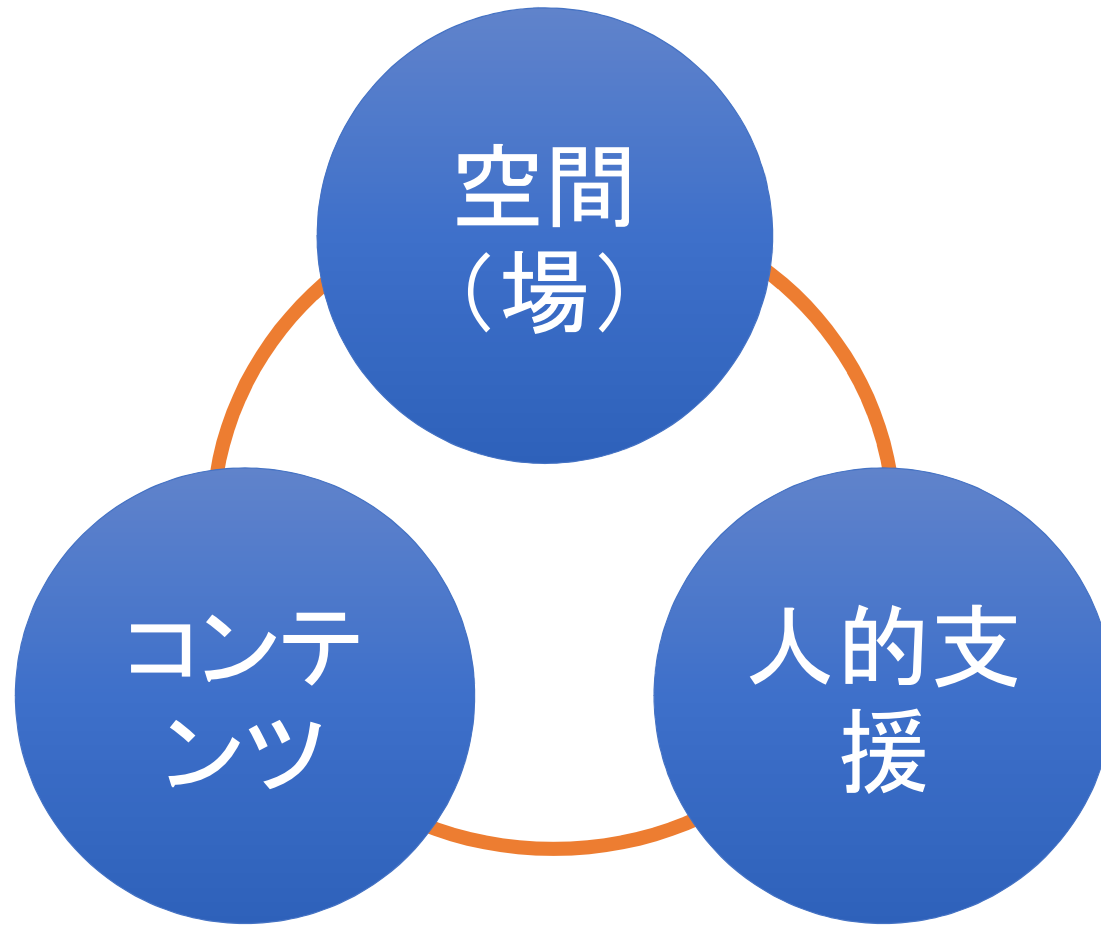


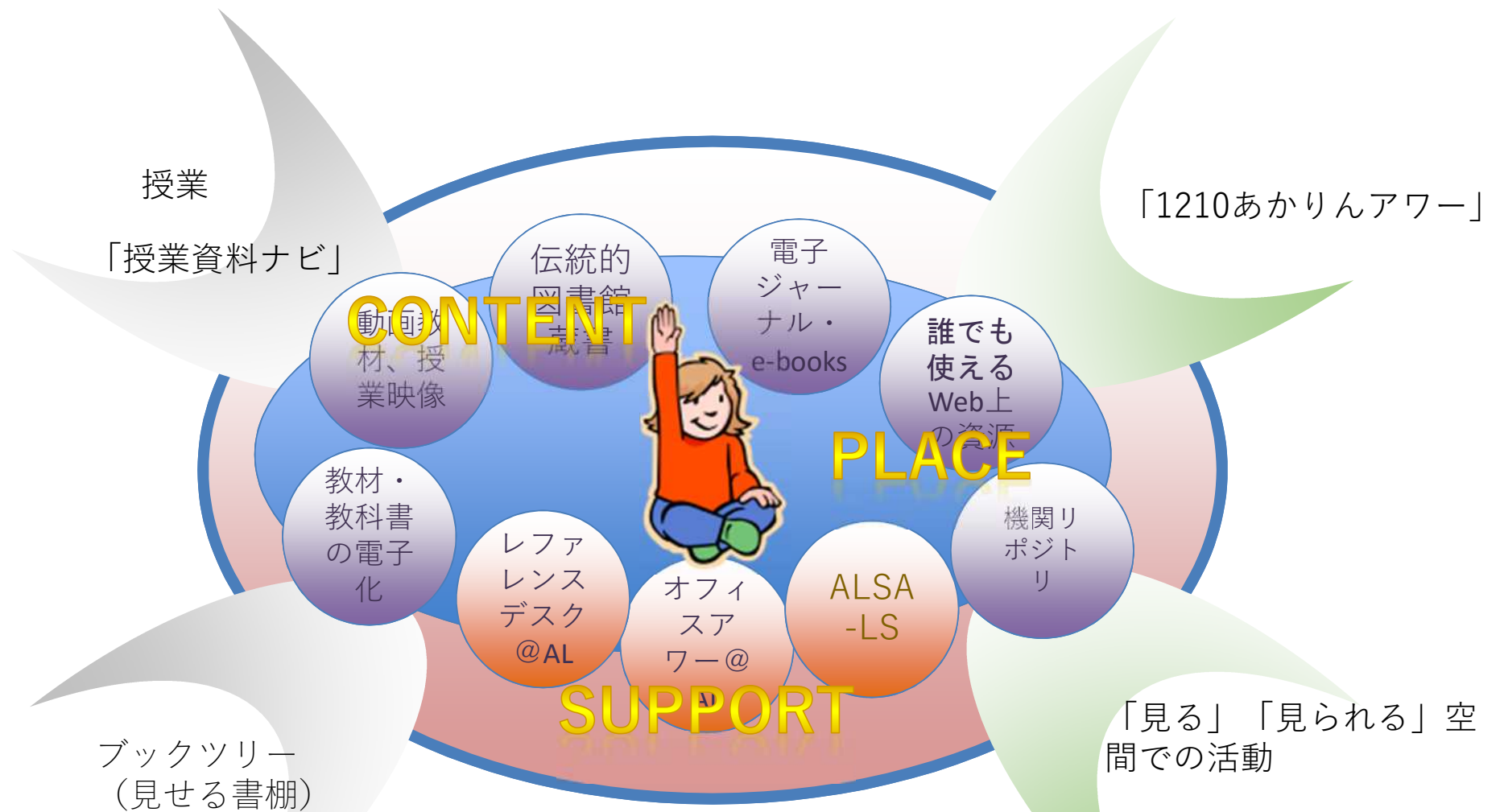
株式会社	建築設計	〒277-8582 千葉県西葛城町 1-1-1	TEL 0476-859-1111	FAX 0476-859-1111	E-MAIL kaisaku@chiba-u.ac.jp
------	------	-------------------------	-------------------	-------------------	------------------------------

アカデミック・リンク / 附属図書館

- 亥鼻（およそ3,700平方メートル）
 - 1996年竣工
 - グループ学習室を会話可能な学習空間へと転用
 - 亥鼻IT室を設置（2019年）
- 松戸（およそ1,000平方メートル）
 - 以前の建物は1963年竣工（増築1983年）。増築部分を園芸学部事務棟として再生するとともに、老朽化が進んでいた共同実験棟の機能も含む形で2020年に竣工。
 - 「アカデミック・リンク松戸」として園芸学部に対応しい新機能を展開を検討







学生から見たアカデミック・リンク
「学び」に導く刺激にあふれた場所，学びの基盤としてのコンテンツ，人的支援

空間の考え方

- 開放性・透明性の高い空間（「見る」「見られる」環境）
- 機能分化（静寂空間 / 討議空間）
- 利用における自由度が高い（N棟：机・椅子・ホワイトボードを自由に動かしてよい）
- 多様性の確保
 - PC席も1人使用のみを想定しない
- 情報のインプットから成果の公表までを支援できる場

→偶然の出会い（人同士だけではない）があり、議論が生まれる



多様な学習スタイルに対応
→「場」の価値の再発見





「見る・見られ
る」環境→「場」
の価値の再発見

見せる本棚
= 偶然の出会い



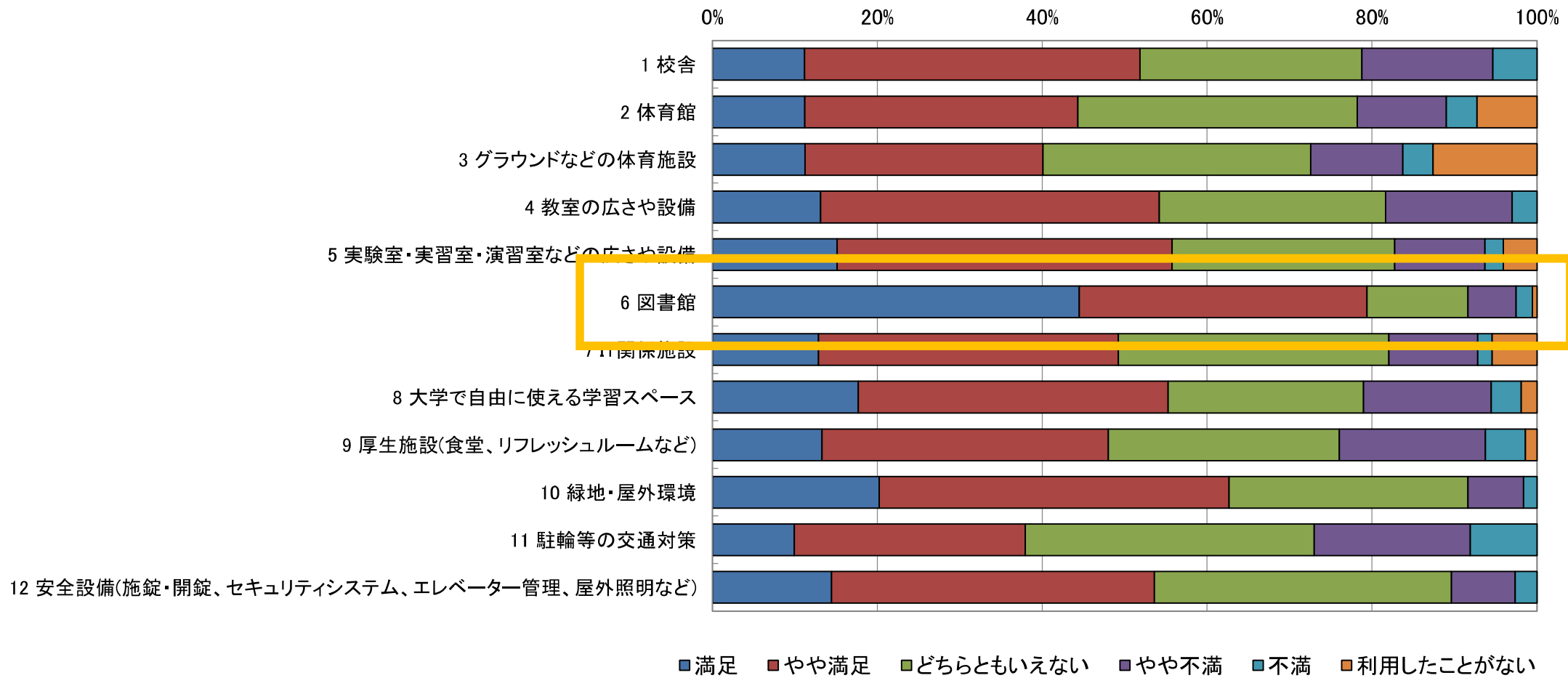


プレゼンテーションスペース＝場を生かすプログラムの実施

レファレンス・
デスクおよび院
生による学習相
談（「見られ
る」環境）

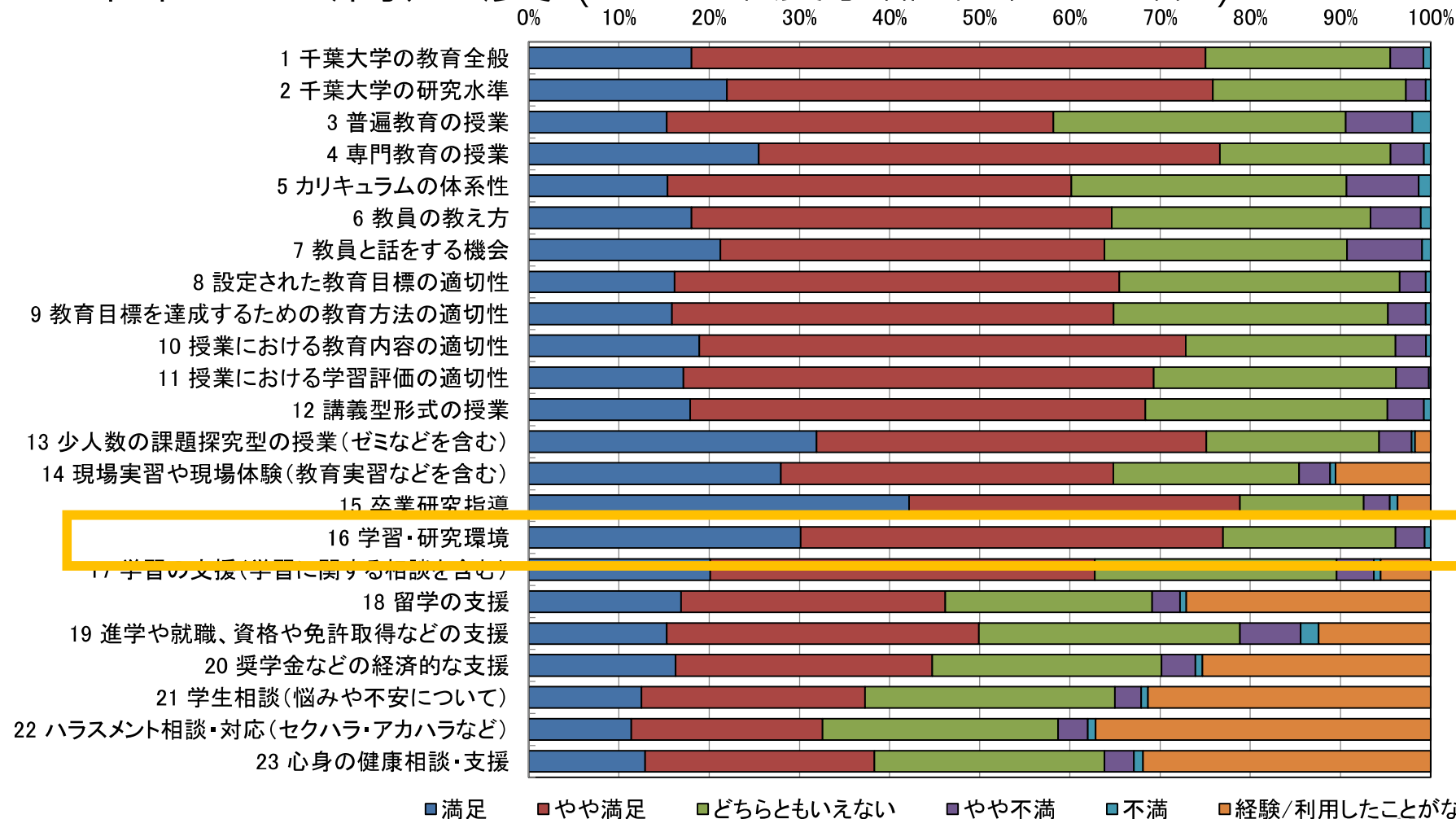


ハード面での満足度 (2018年度学部卒業生全体)



出典「千葉大学の教育・研究」に対する意識・満足度調査報告書¹⁷ (2019)

ソフト面での満足度 (2018年度学部卒業生全体)



出典「千葉大学の教育・研究」に対する意識・満足度調査報告書 (2019)